

第7次江別市総合計画策定にかかる 基礎調査まとめ

[まちづくり全体について]

第7次江別市総合計画策定にあたり、基礎調査として、江別市に関するデータ収集や類似都市および近隣周辺市との比較を行ったほか、「市民アンケート」「高校生アンケート」「中学生アンケート」「えべつの未来づくりミーティング」「えべつの未来づくりプロジェクト」「職員アンケート」を実施し、市民や市職員から、まちづくりへの評価や意見などを伺いました。

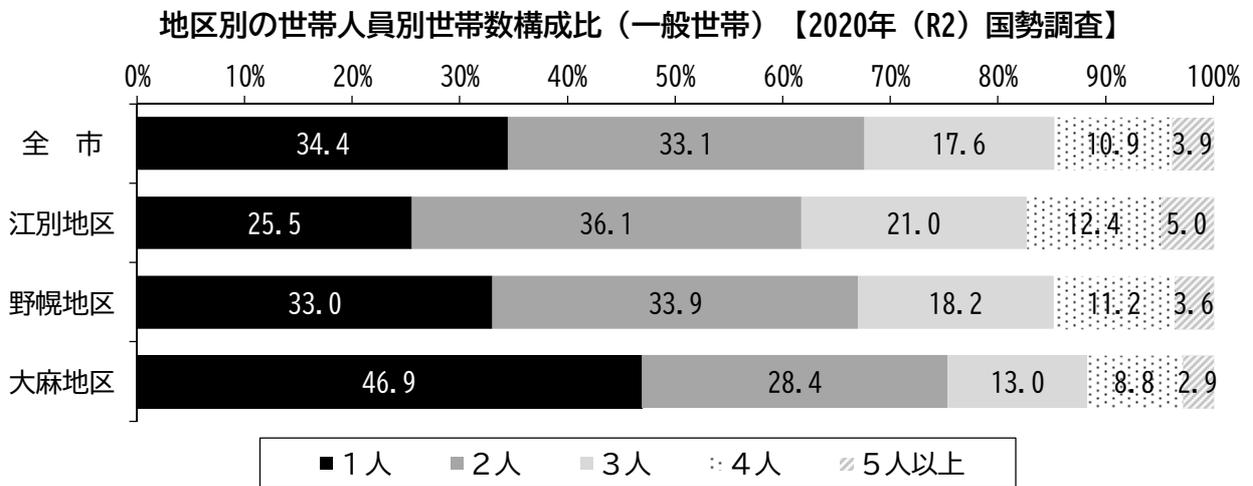
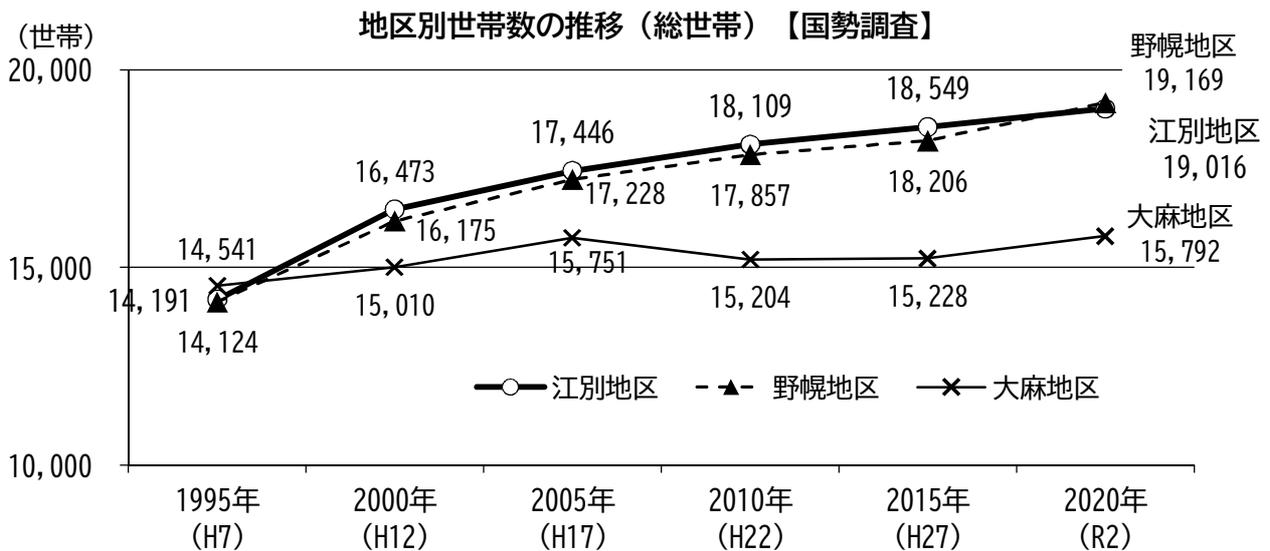
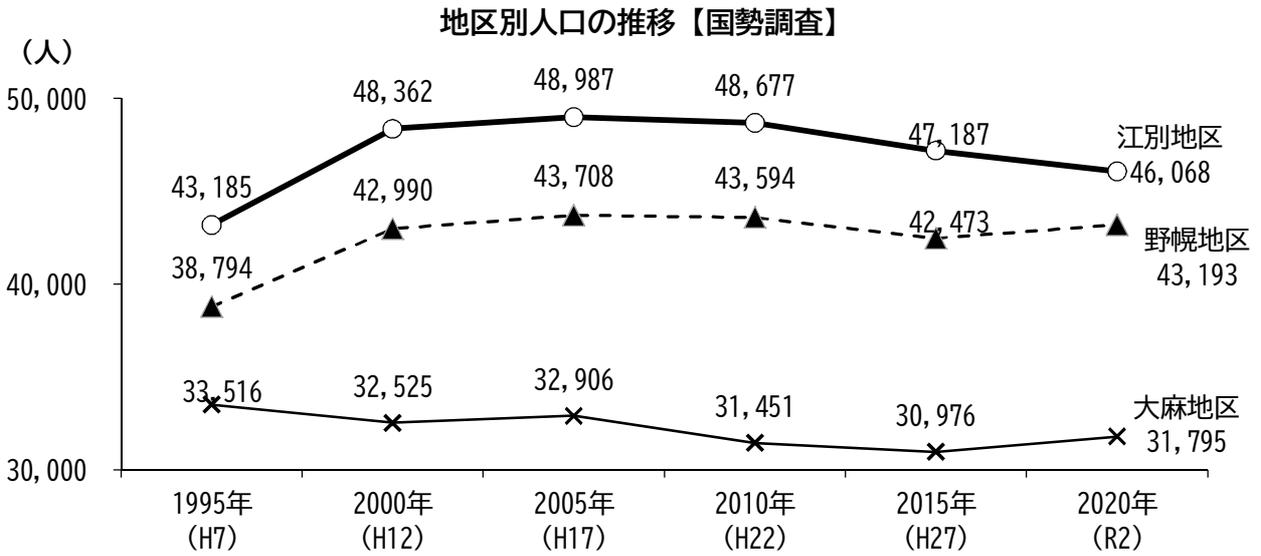
調査結果については、調査ごとに結果報告書を作成し、まとめましたが、それらの中から、「まち（づくり）全体に関する内容」を抽出し、まとめた資料を作成しました。

基本理念や将来都市像を検討する際の資料としてご利用ください。（※掲載のグラフには、四捨五入により各数値の合計が100%とならないものがあります。）

1 江別市のデータ	1
2 北海道内の類似都市および近隣周辺市との比較	2
3 アンケート	8
4 えべつの未来づくりミーティングで多かった意見	12
5 えべつの未来づくりプロジェクトで多かった意見	13
6 職員アンケートで多かった意見	14
7 各種調査に寄せられた声、意見など	16

1 江別市のデータ

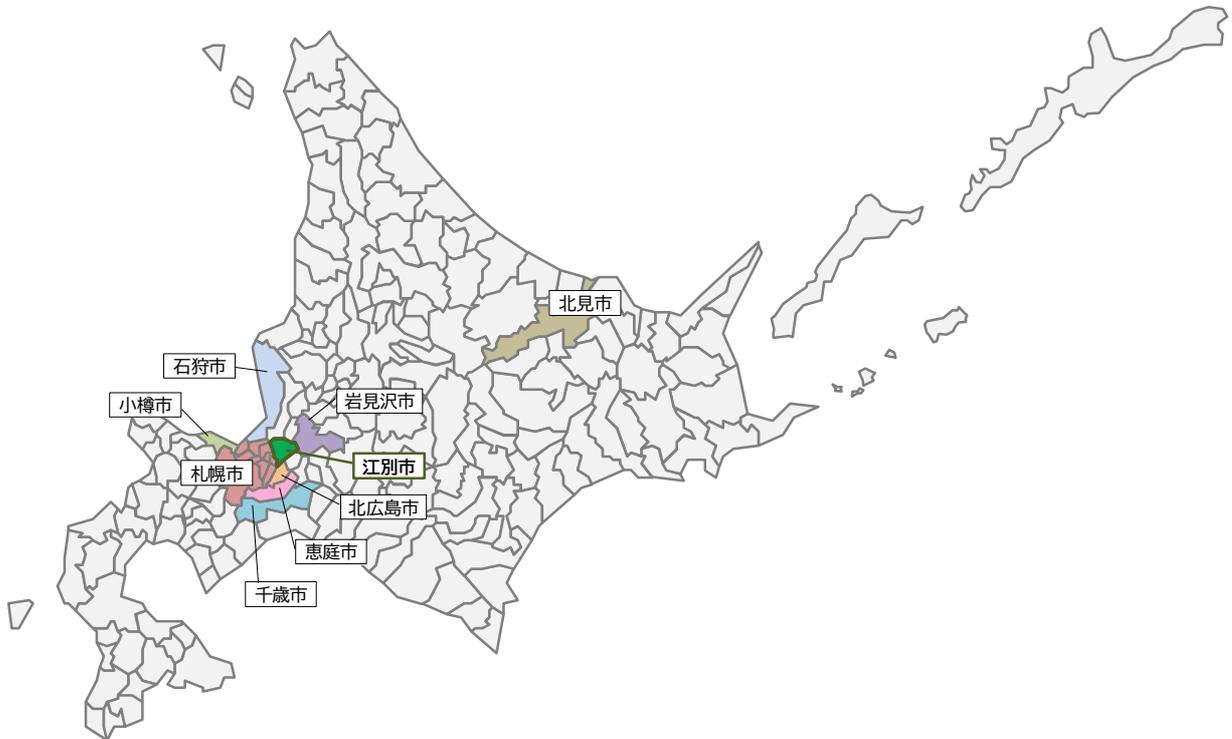
※市全体の人口のデータは、えべつの未来づくりミーティング資料「江別市の現状について」をご参照ください。



2 北海道内の類似都市および近隣周辺市との比較

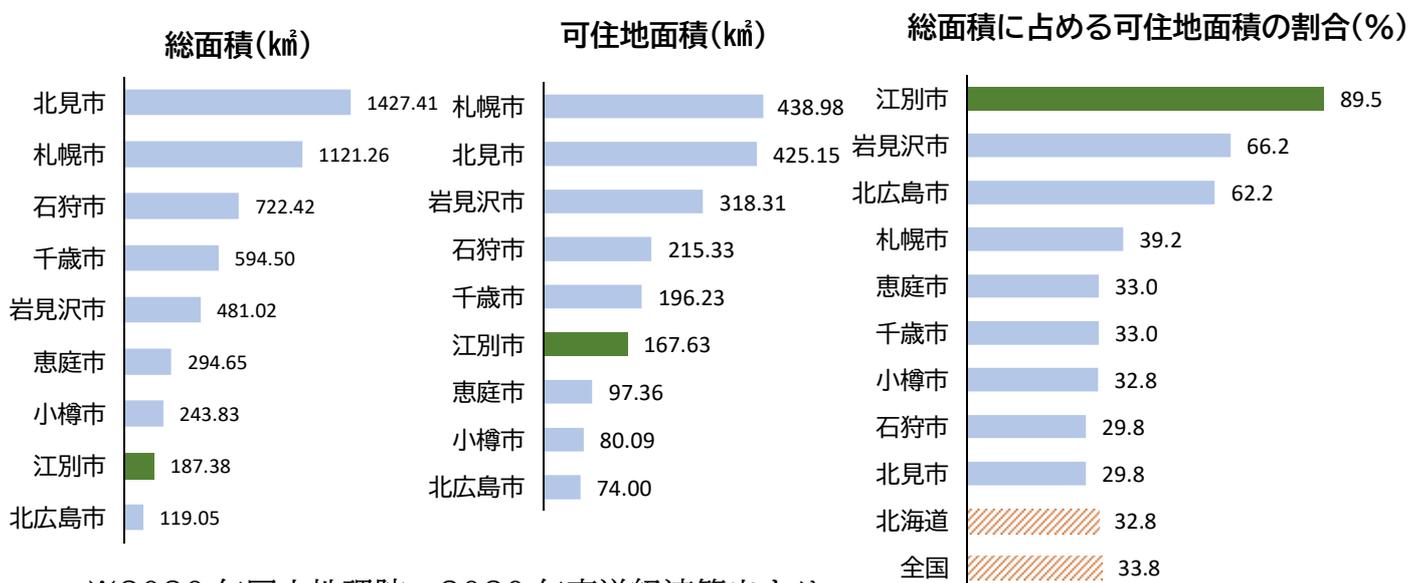
各種統計データを用いて、北海道内の類似した都市および近隣周辺市の8都市と比較し、江別市の特徴を分析しました。江別市と比較する8都市は、

- 札幌広域圏5市 「札幌市」「千歳市」「恵庭市」「北広島市」「石狩市」
 - 北海道内の類似都市2市 「小樽市」「北見市」
 - 江別市に隣接する都市1市 「岩見沢市」
- です。



(1) 面積

- ・江別市の総面積は8位で、北広島市に次いで2番目に狭いですが、総面積から林野と主な湖沼の面積を引いた「可住地（人が住み得る土地）」の面積は6位で、総面積が江別市よりも広い恵庭市や小樽市よりも広いです。
- ・その結果、総面積に占める可住地面積の割合は、最も高くなっています。

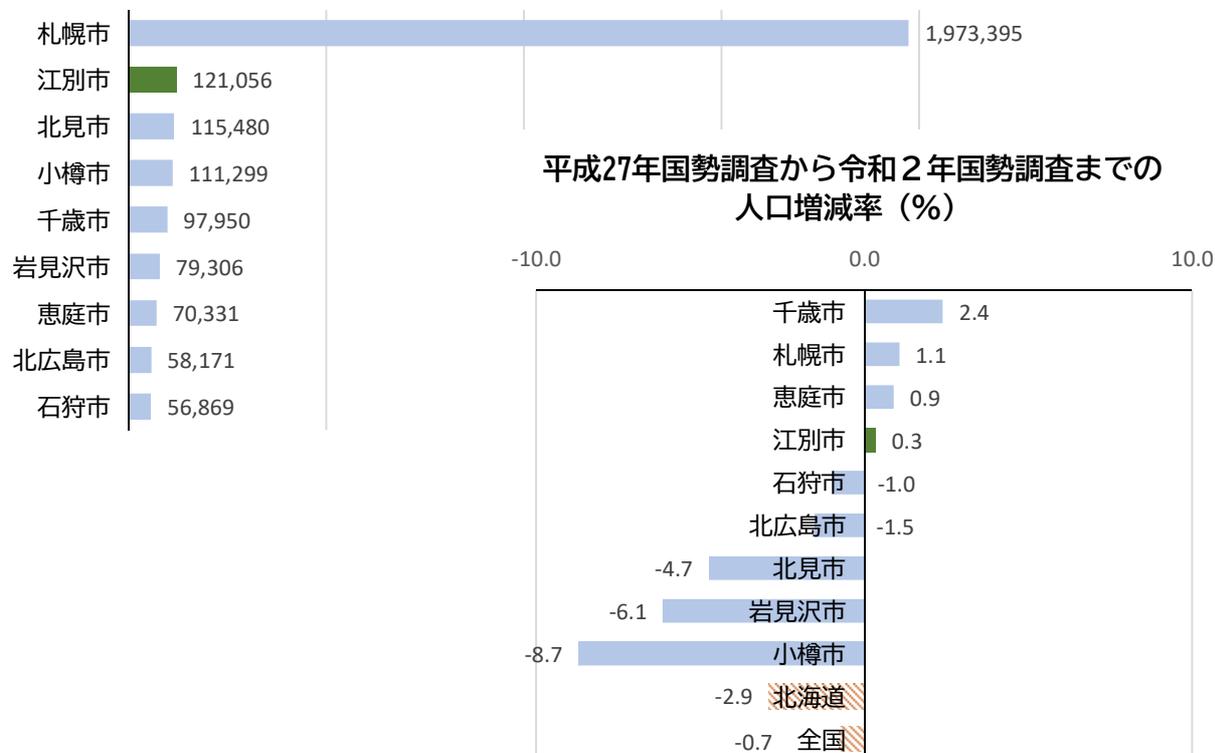


※2020年国土地理院、2020年東洋経済算出より

(2) 人口

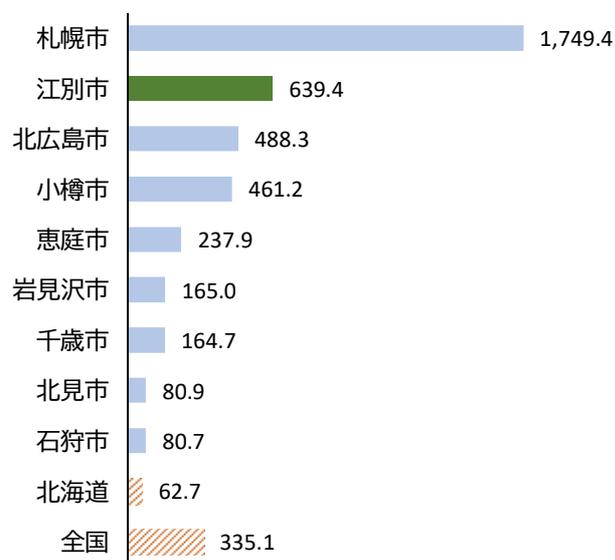
- ・令和2年国勢調査の総人口は、札幌市に次いで2位です。
- ・平成27年国勢調査から令和2年国勢調査までの総人口の「増加率」を比べると、江別市を含め4市が増加していますが、江別市は増加した4市の中では、増加率が最も低いです。

令和2年国勢調査の総人口（人）

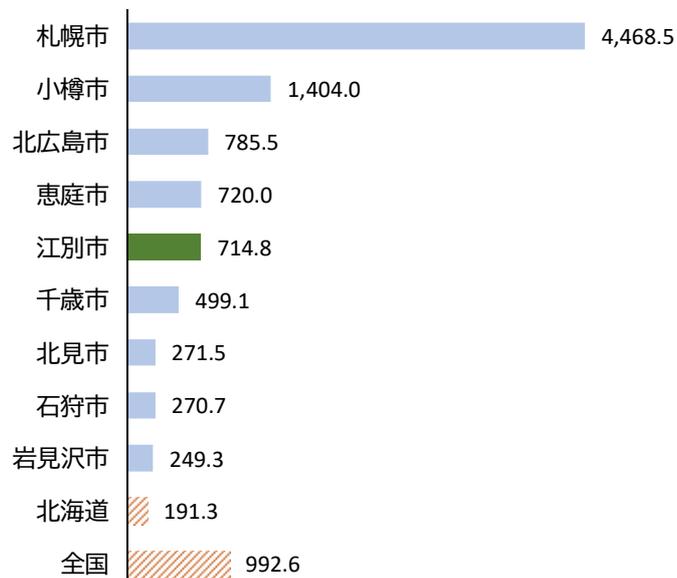


- ・（総面積に占める）人口密度は2位ですが、総面積に占める可住地の割合が高いこともあり、可住地人口密度は、小樽市、北広島市、恵庭市よりも低く、5位です。

人口密度（人/㎢）



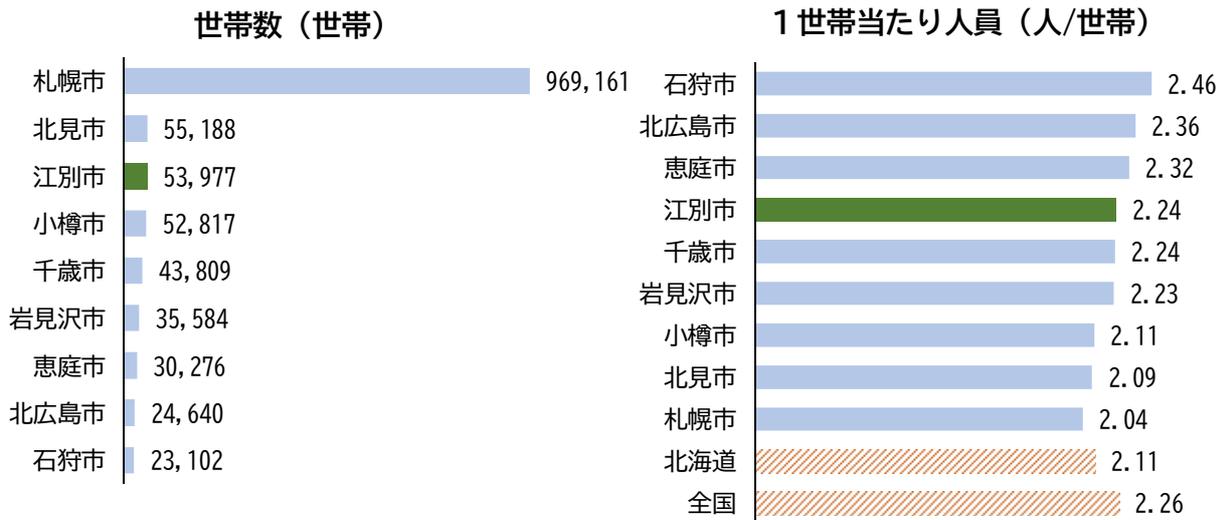
可住地人口密度（人/㎢）



※2021年1月1日東洋経済算出

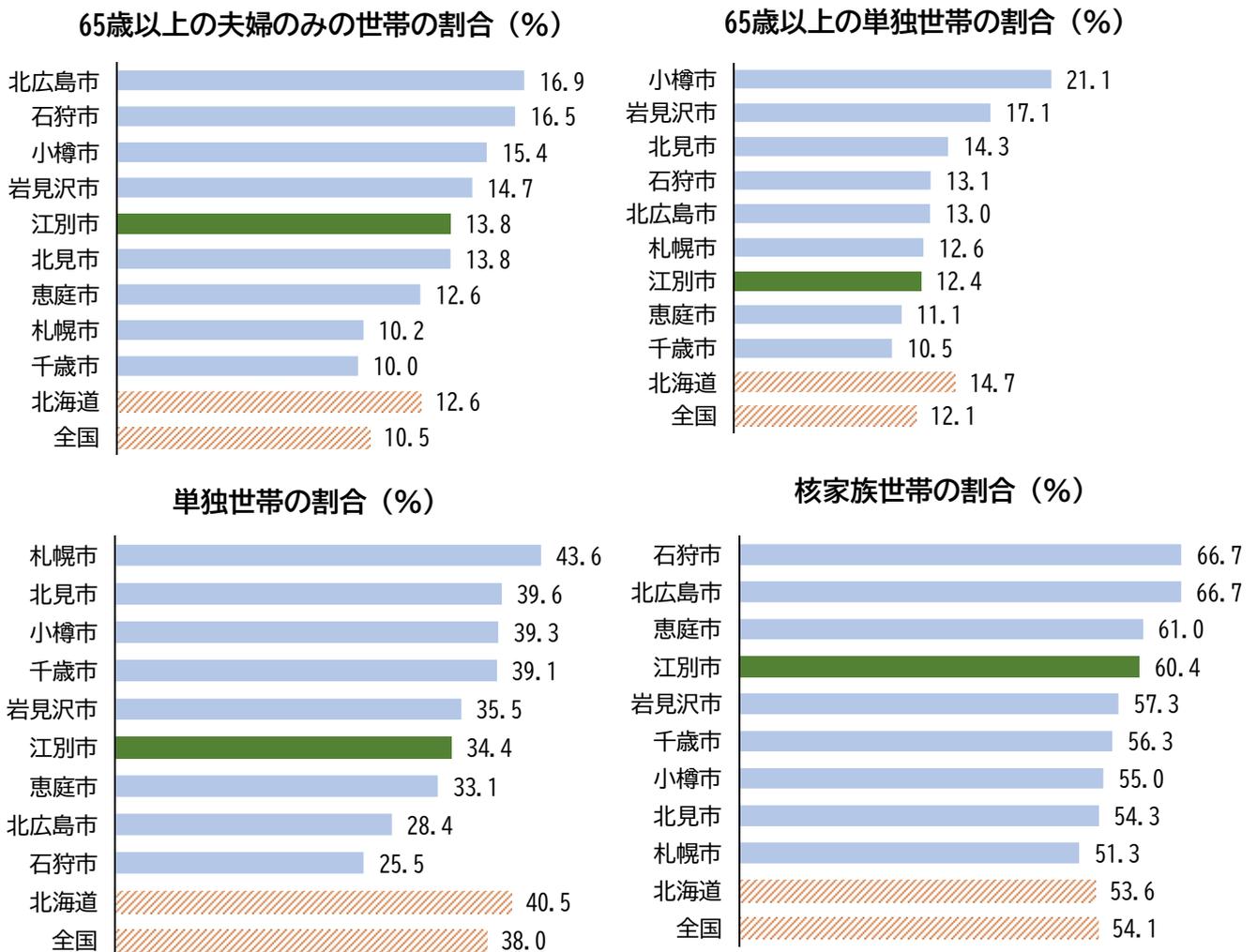
(3) 世帯

・世帯数は3位で、北見市や小樽市と同程度ですが、1世帯当たり人員は4位です。



※令和2年国勢調査

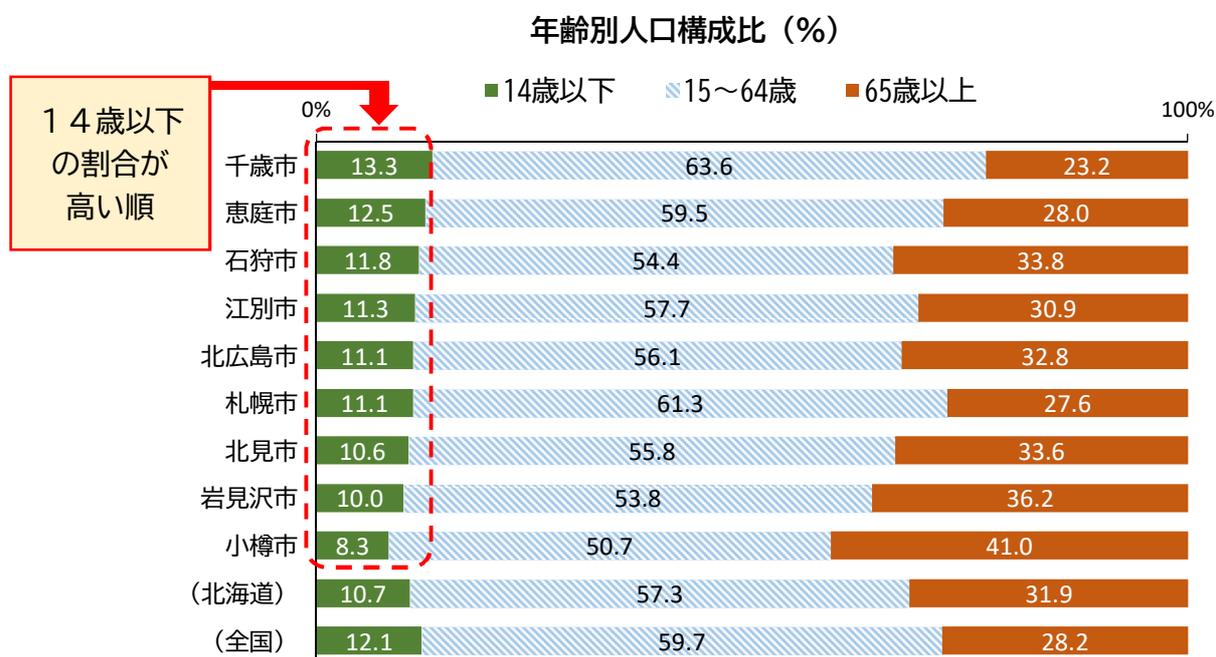
・全世帯に占める、65歳以上の夫婦のみの世帯の割合は5位、65歳以上の単独(ひとり暮らし)世帯の割合は7位です。また、全世帯に占める、単独世帯(ひとり暮らし)の割合は6位で、核家族世帯の割合は4位です。



※令和2年国勢調査

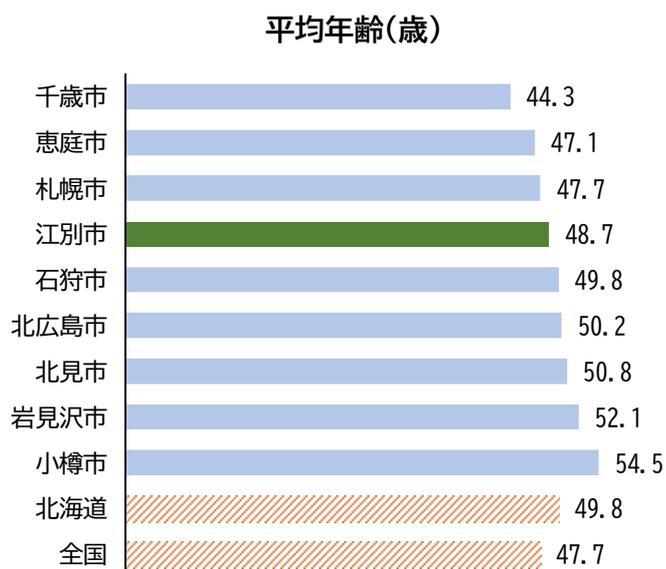
(4) 年齢

- ・年齢別人口構成比のうち、「14歳以下」は千歳市、恵庭市、石狩市に次いで高く、4位です。
- ・「15～64歳」は千歳市、札幌市、恵庭市に次いで高く、4位です。
- ・「65歳以上」は千歳市、札幌市、恵庭市に次いで低く、6位です。



※2021年住民基本台帳

- ・平均年齢は千歳市、恵庭市、札幌市に次いで若く、4位です。

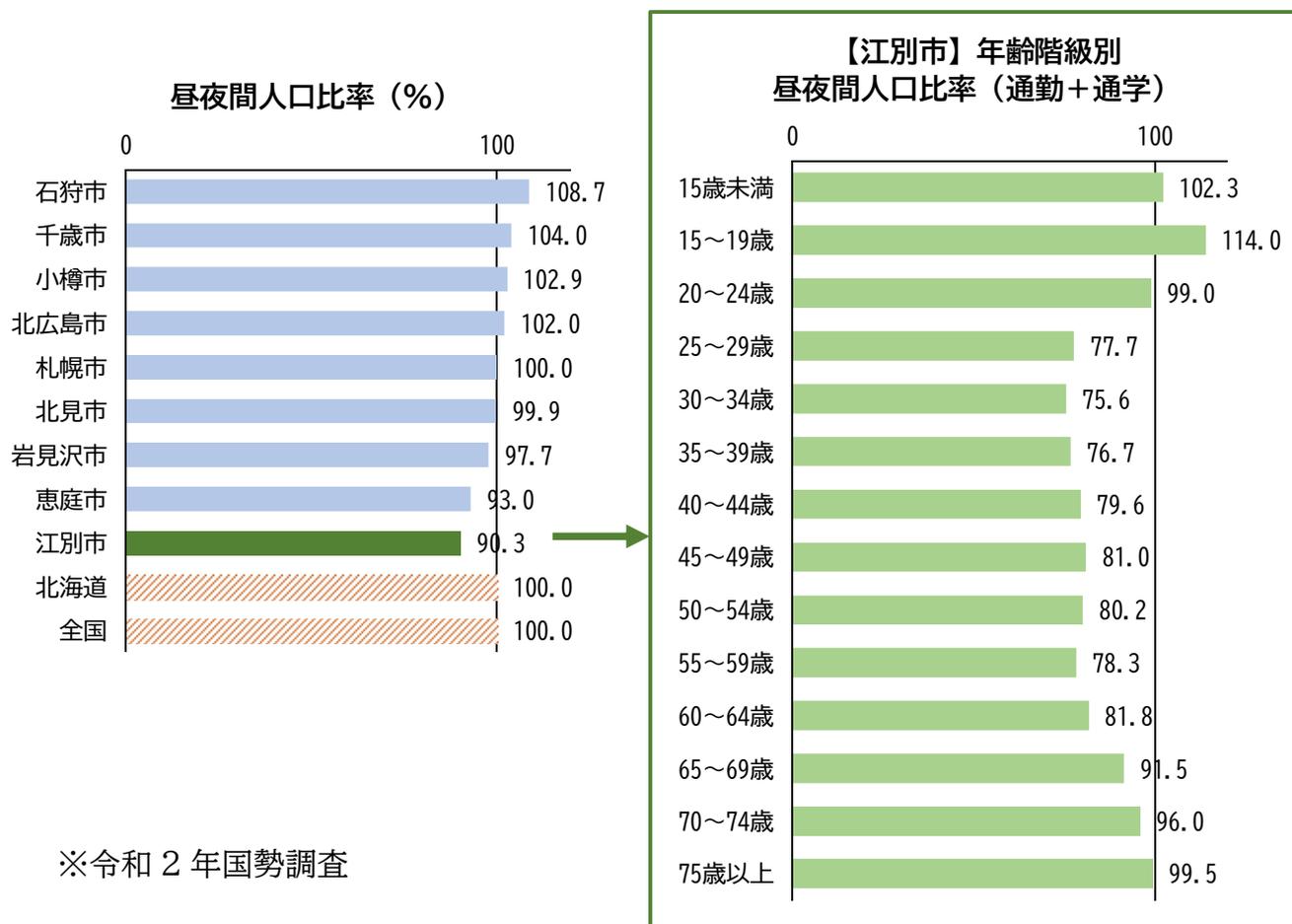


※令和2年国勢調査

※「平均年齢」は、年齢「不詳」の者を除いて算出

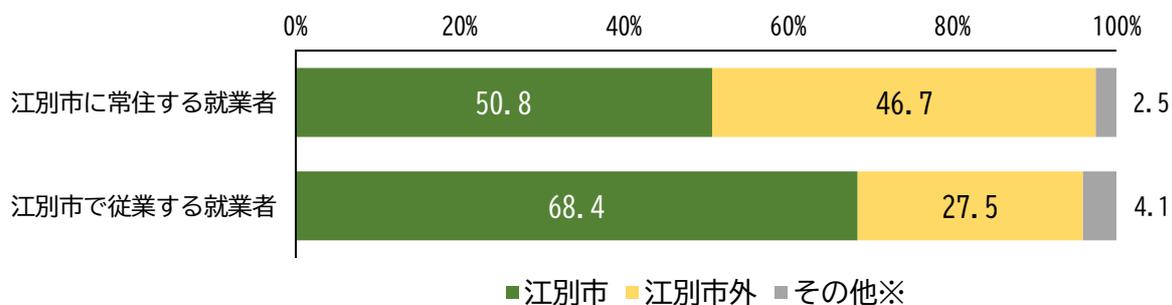
(5) 通勤、通学

- ・昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口）は、9市の中で最も低くなっています。
- ・昼夜間人口比率を年齢階級別にみると、25歳以上から64歳までは、流出超過が目立ちます。



- ・江別市に常住する就業者の46.7%は、江別市外に通勤しています。
- ・江別市内で従業する就業者の27.5%は、江別市外から通勤しています。

【江別市】就業者の従業地（通学者を含まない） (%)

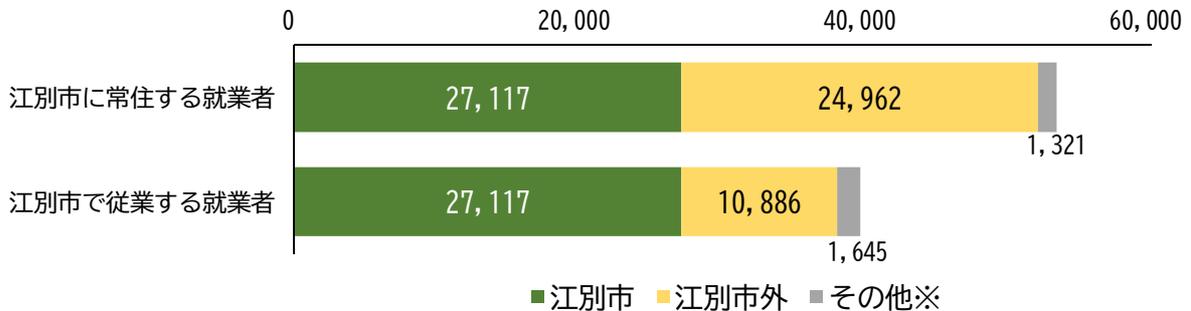


※令和2年国勢調査

※「その他」は、江別市に常住で従業地「不詳」の方など。

- ・江別市に常住する就業者、江別市内で従業する就業者の人数および江別市内・市外の内訳については、次のとおりです。

【江別市】就業者の従業地（通学者を含まない）（人）



※令和2年国勢調査

※「その他」は、江別市に常住で従業地「不詳」の方など。

- ・江別市に常住する就業者の従業地で最も多いのは江別市ですが、次に多いのは札幌市です。その次に、北広島市と岩見沢市がほぼ同数で続きます。
- ・江別市内で従業する就業者の常住地で最も多いのは江別市ですが、次に多いのは札幌市です。以下、岩見沢市、北広島市と続きます。

江別市に常住する就業者の従業地
（就業者のみで通学者を含まない）

江別市内で従業する就業者の常住地
（就業者のみで通学者を含まない）

区 分		人	%	
江別市に常住する就業者（合計）		53,400	100.0	
従業地	江別市	27,117	50.8	
	江別市外	24,962	46.7	
	市外の内訳	札幌市	19,496	36.5
		千歳市	326	0.6
		恵庭市	428	0.8
		北広島市	1,038	1.9
		石狩市	351	0.7
		当別町	279	0.5
		岩見沢市	1,036	1.9
		南幌町	382	0.7
		道内のその他市町村	1,206	2.3
		道外	96	0.2
		従業市区町村「不詳」	324	0.6
従業地「不詳」	1,321	2.5		

区 分		人	%	
江別市内で従業する就業者（合計）		39,648	100.0	
常住地	江別市	27,117	68.4	
	江別市外	10,886	27.5	
	市外の内訳	札幌市	7,928	20.0
		千歳市	120	0.3
		恵庭市	252	0.6
		北広島市	525	1.3
		石狩市	128	0.3
		当別町	204	0.5
		岩見沢市	866	2.2
		南幌町	356	0.9
		道内のその他市町村	472	1.2
		道外	35	0.1
		従業市区町村「不詳」で江別市に常住	324	0.8
従業地「不詳」で江別市に常住	1,321	3.3		

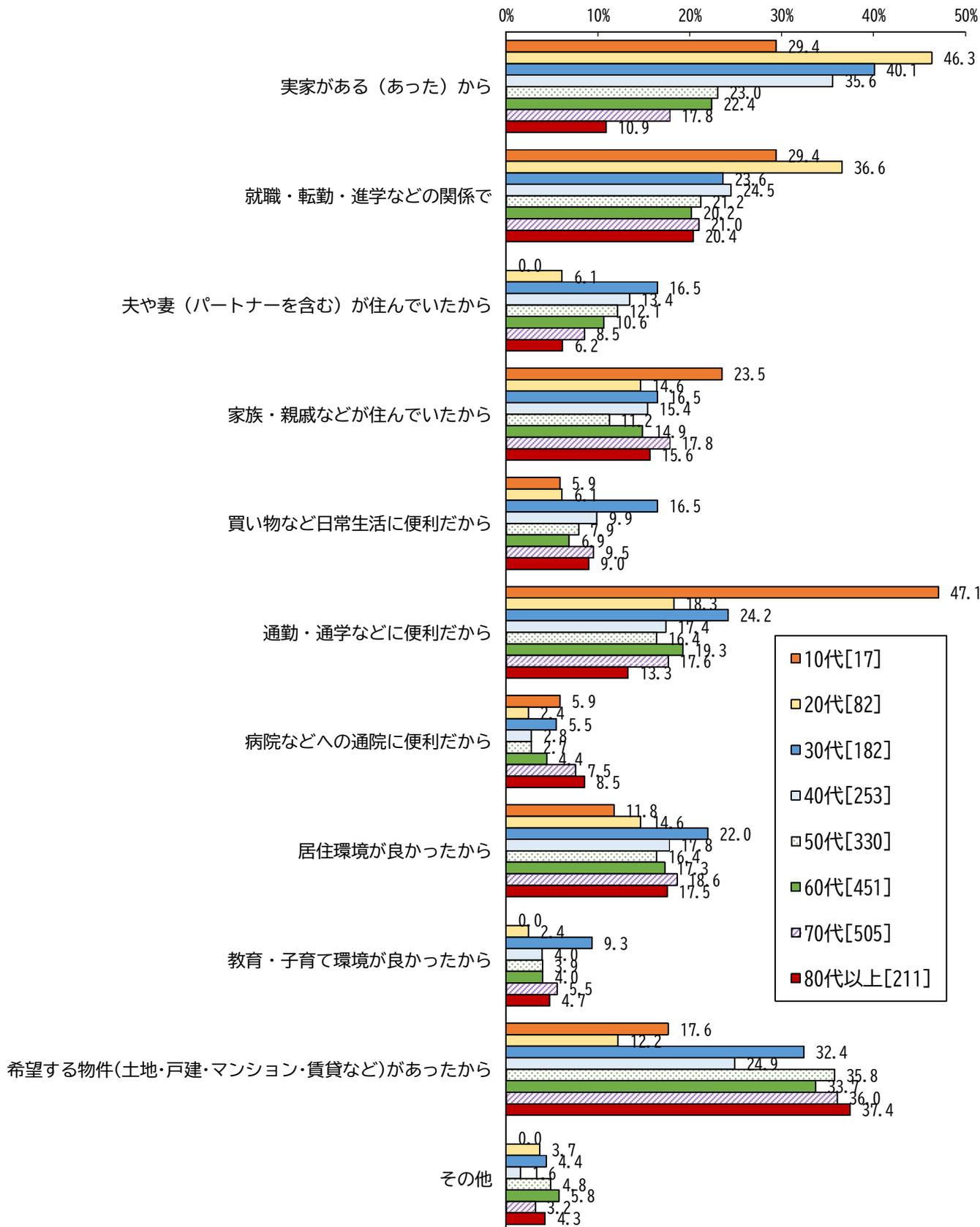
3 アンケート

※ [] は回答者の数

※市民アンケート：令和3年10月に、18歳以上の市民5,000人を無作為に抽出し実施し、2,059人から回答。

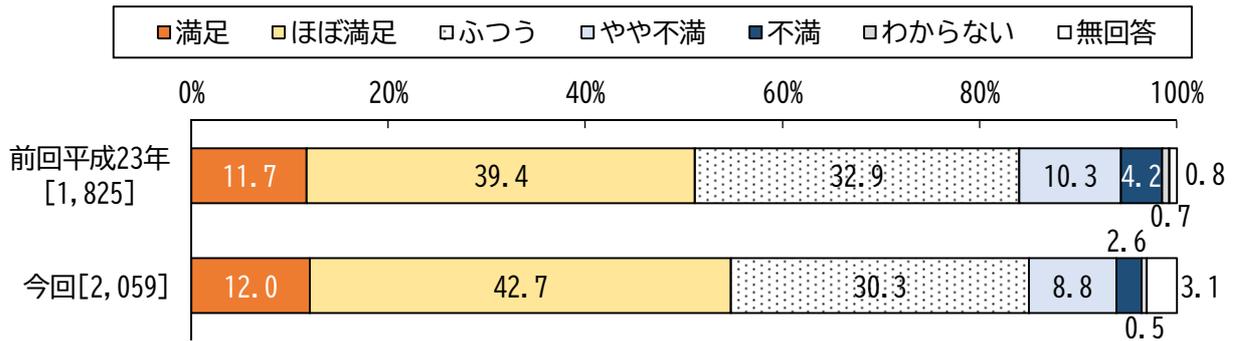
(1) 江別市に住むようになった理由

【市民アンケート】江別市に住むようになった理由（あてはまるものすべて選択/年代別）



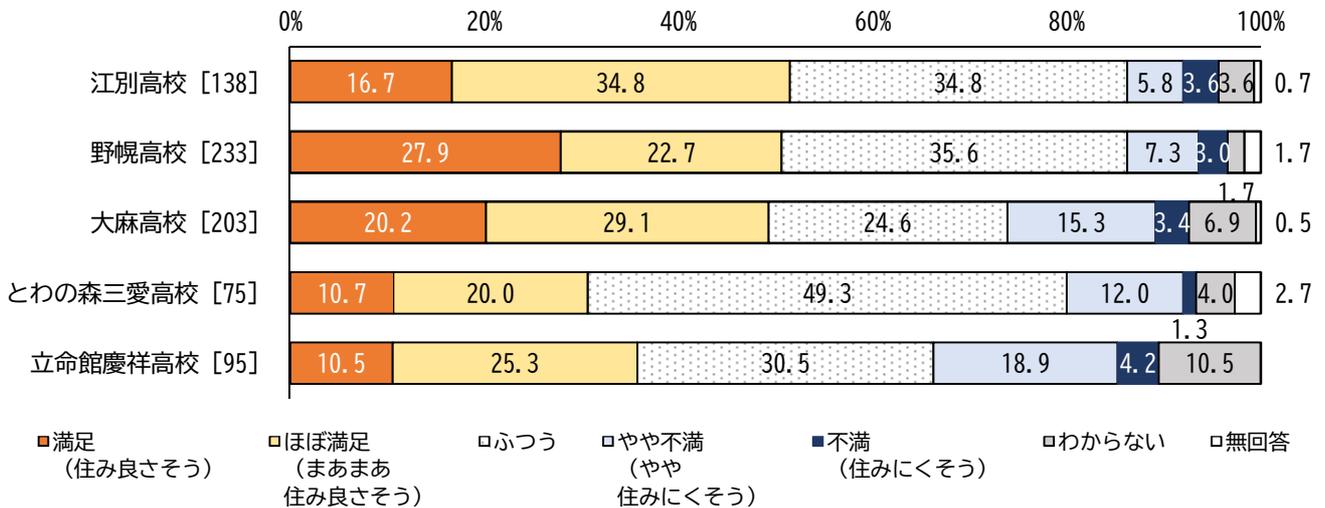
(2) 江別市の住み心地

【市民アンケート】江別市の住み心地について《前回との比較》



※前回：平成23年10月～11月に、18歳以上の市民5,000人を無作為に抽出し実施し、1,825人から回答。

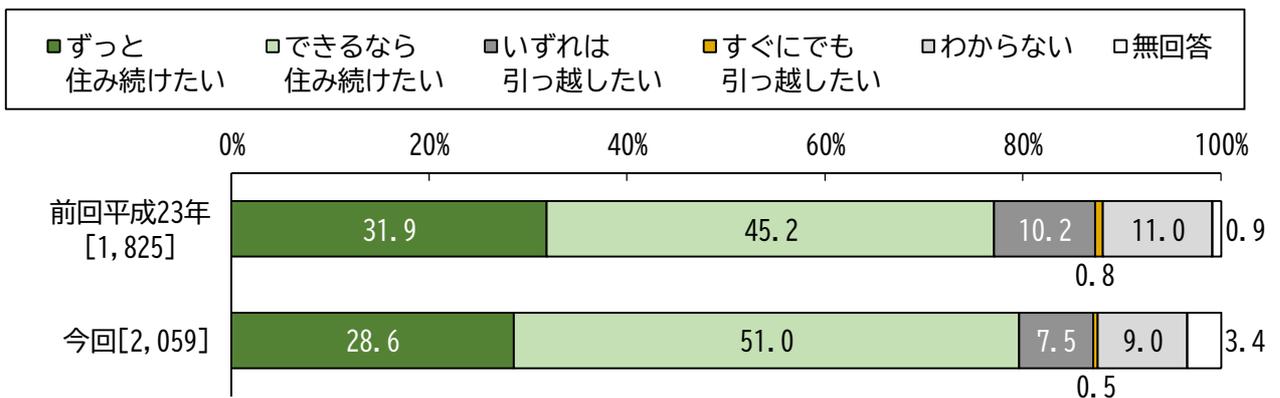
【高校生アンケート】江別市の住み心地（学校別）



※高校生アンケート：令和4年7月に市内高校生を対象に実施したWebアンケート結果。744人から回答。

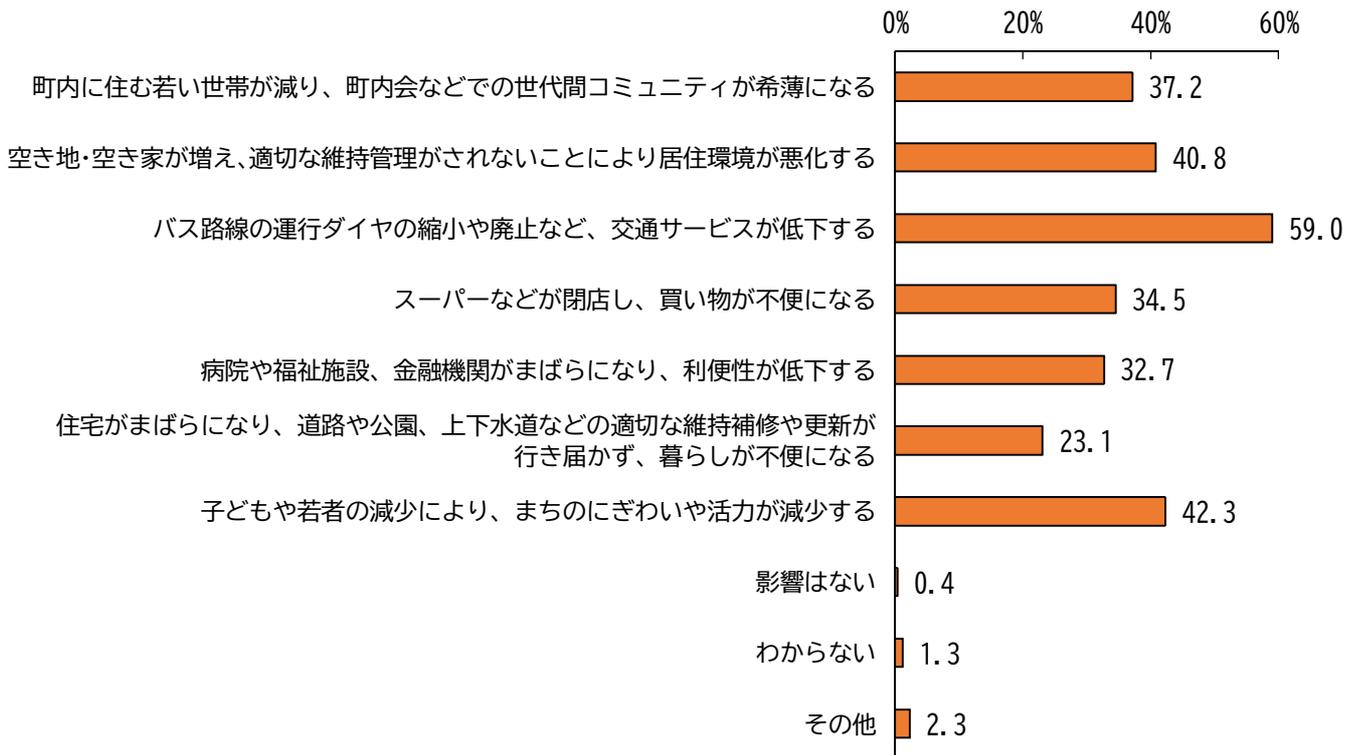
(3) 江別市への定住意向

【市民アンケート】これからも江別市に住み続けたいか《前回との比較》



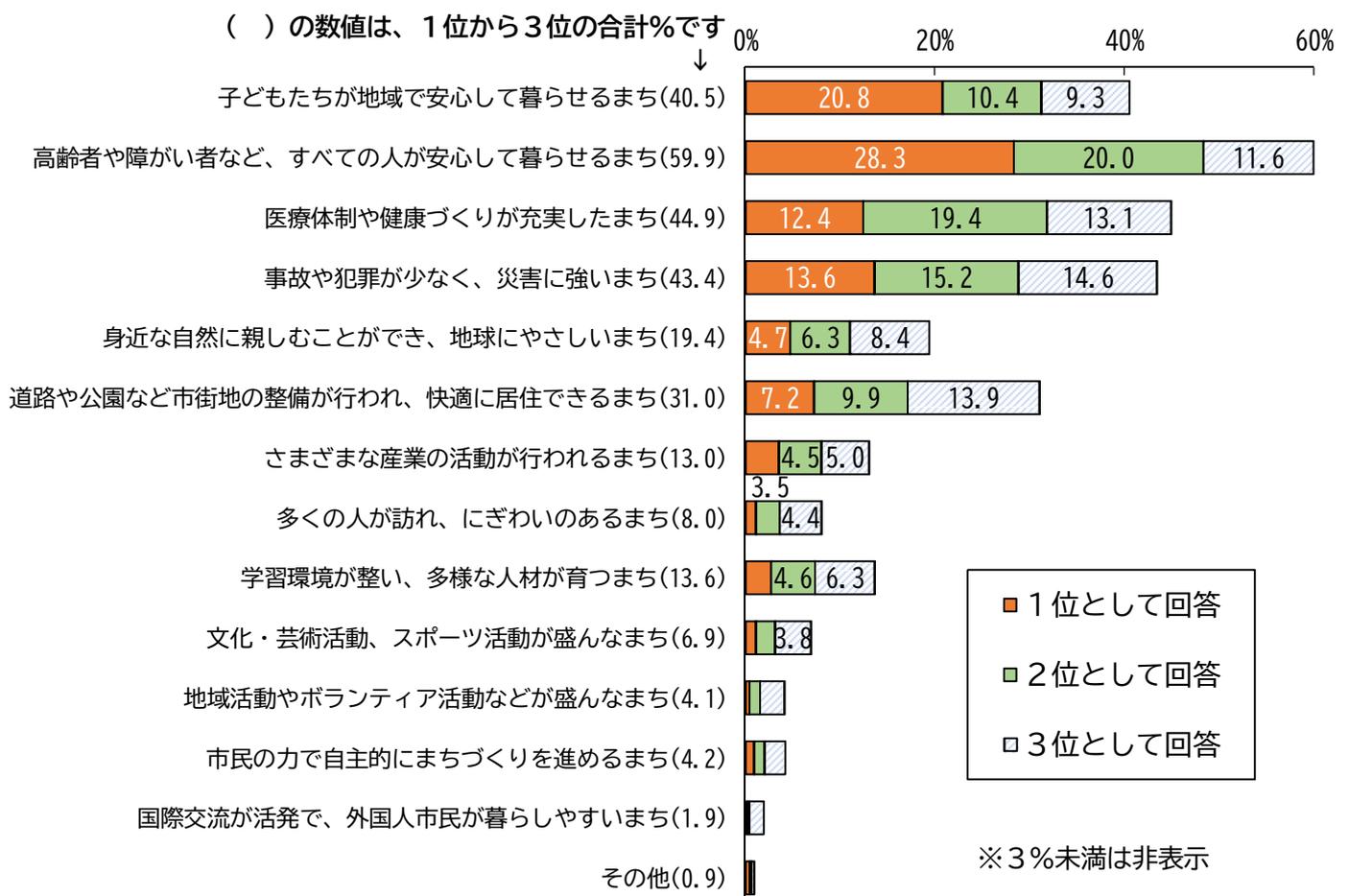
(4) 人口減少や少子高齢化が進むことで想定される影響

【市民アンケート】人口減少や少子高齢化が進むことで想定される影響（3つまで選択） [2,059人]

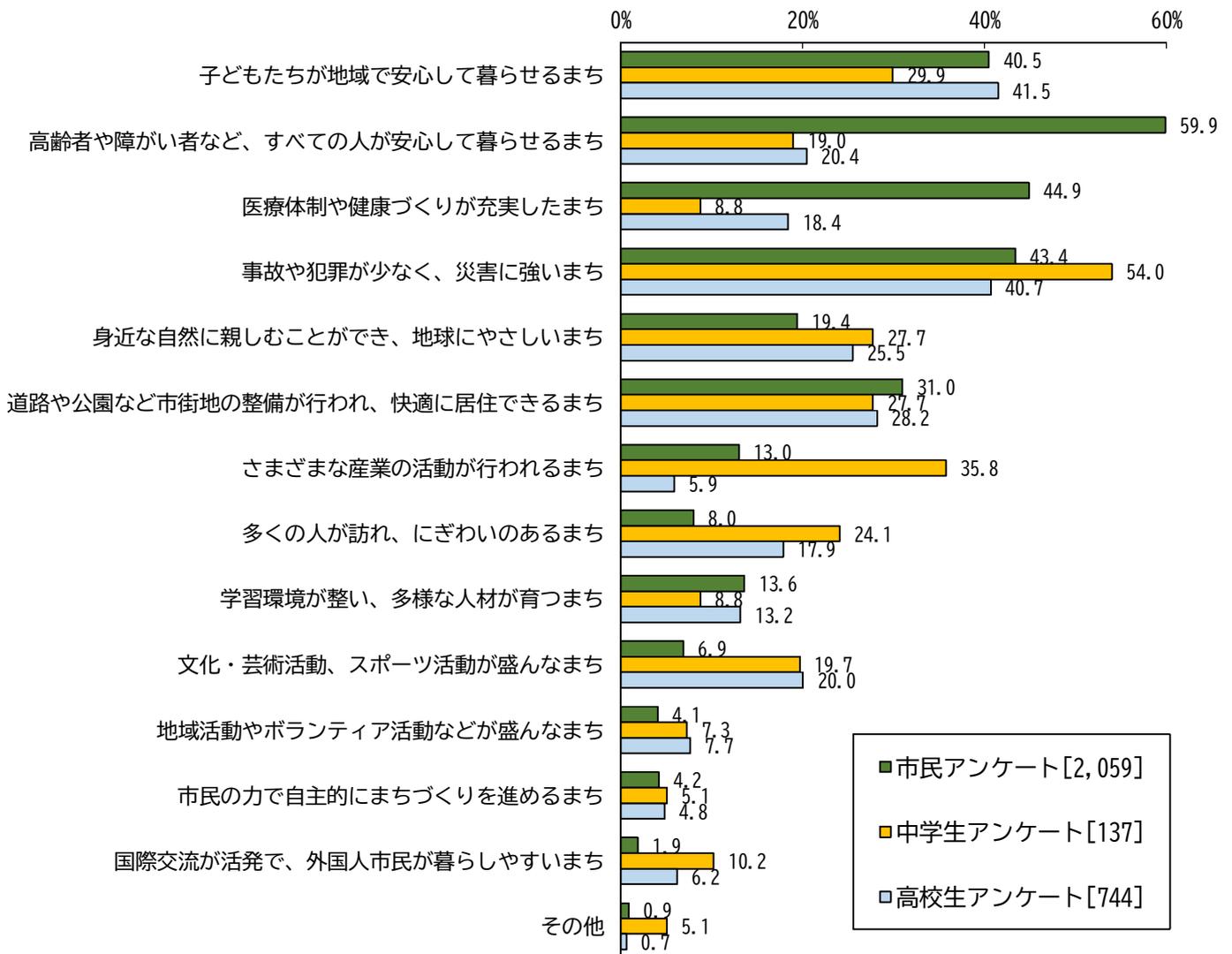


(5) 江別市のイメージ

【市民アンケート】将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの（順位別） [2,059人]

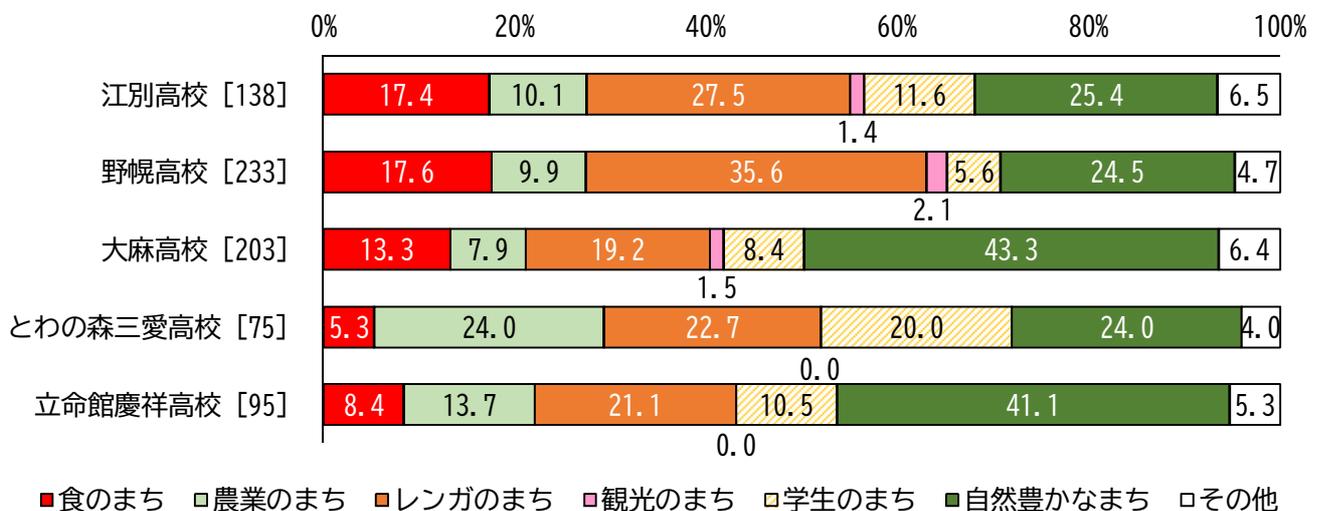


【市民・中学生・高校生アンケート】 将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの



※中学生アンケート：令和3年10月に行った出前講座の際、江別第一中学校の1年生を対象に実施。

【高校生アンケート】 江別市のイメージ（学校別）



※高校生アンケート：令和4年7月に市内高校生を対象に実施（Webアンケート）。

4 えべつの未来づくりミーティングで多かった意見

(1) 江別市の「強み」「弱み」

- ・「強み」で最も多く挙げられたのは、「札幌市に近い、札幌市への交通アクセスが良い」でした。そのほか、「自然が多い、自然が身近にある」や、「子育て環境（教育）が良い、子育て世代に支持されている、子育て世代の転入が多い」などが挙げられました。
- ・「弱み」で最も多く挙げられたのは、「雪が多い、雪対策や除雪」でした。そのほか、「特徴がない、観光地（宿泊施設）が少ない」や、「札幌市に頼りがち、札幌市に目を向けがち、札幌市と比較されがち」などが挙げられました。

順位	江別市の「強み」 上位10位
1位	札幌市に近い、札幌市への交通アクセスが良い (68)
2位	自然が多い、自然が身近にある (34)
3位	子育て環境（教育）が良い、子育て世代に支持されている、子育て世代の転入が多い (31)
4位	日用品店など店が多い・揃っている (26)
5位	大学が四つある、大学生が多い、大学生と連携・交流がある (24)
6位	全体的に交通アクセスが良い (22)
7位	公園が多い、大きな公園がある (21)
8位	小麦がおいしい・有名、農産品や魅力ある食がある (20)
9位	魅力的な店がある・増えている（パン屋、カフェ、江別蔦屋書店など） (16)
10位	住宅地が比較的安い、広めの住宅地を購入することができる (15)

順位	江別市の「弱み」 上位10位
1位	雪が多い、雪対策や除雪 (37)
2位	特徴がない、観光地（宿泊施設）が少ない (27)
3位	札幌市に頼りがち、札幌市に目を向けがち、札幌市と比較されがち (25)
4位	町内の公共交通、車がないと不便 (23)
5位	企業が少ない、就職先が少ない (20)
6位	大学生が卒業後、市外に転出する (18)
7位	地域の差（高齢化が進んでいるところがある、江別・大麻地区がさびしい） (15)
8位	情報発信力が弱い・上手くない、知られていない (14)
9位	バスが不便 (13)
10位	公園の遊具やトイレなどの設備、公園の管理 (11)

※（ ）の中の数字は、各ミーティングの中で関連する意見があった回数です。

(2) 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野

- ・最も多く挙げられたのは「子育て支援、教育」に関することでした。そのほか、「障がい者福祉、障がい者支援」、「働く場」や「情報の発信、PR」などが挙げられました。

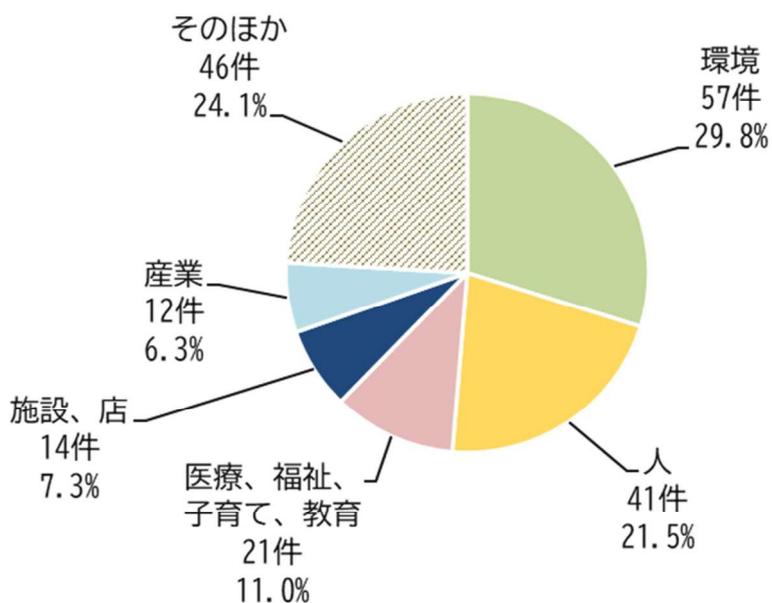
順位	分野・取組 上位10位
1位	子育て支援、教育 (25)
2位	障がい者福祉、障がい者支援 (21)
3位	働く場 (16) 情報の発信、PR (16) ※2項目同数
5位	DX (11)
6位	観光 (10)
7位	アクティブシニア、高齢者の活躍支援 (9) 高齢者福祉、高齢者支援 (9) ※2項目同数
9位	子どもを産める産科 (8)
10位	公共交通 (7)

※ () 中の数字は、各ミーティングで関連する意見があった回数です。

5 えべつの未来づくりプロジェクトで多かった意見

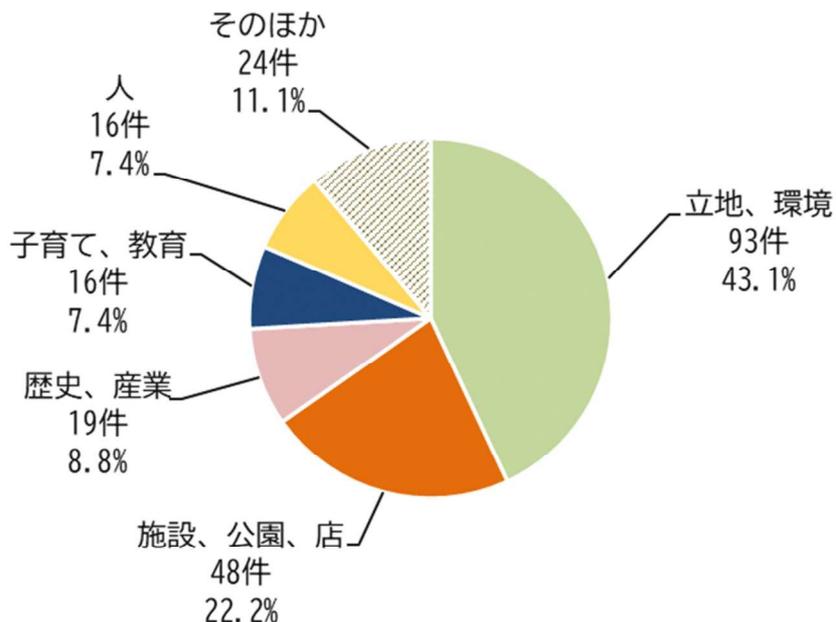
(1) 江別市の理想の姿

- ・「環境」に関する内容が多く、約3割(29.8%)を占めています。次に「人」に関する内容(21.5%)、「医療、福祉、子育て、教育」に関する内容(11.0%)が続きます。



(2) 江別市の魅力 (イチオシ)

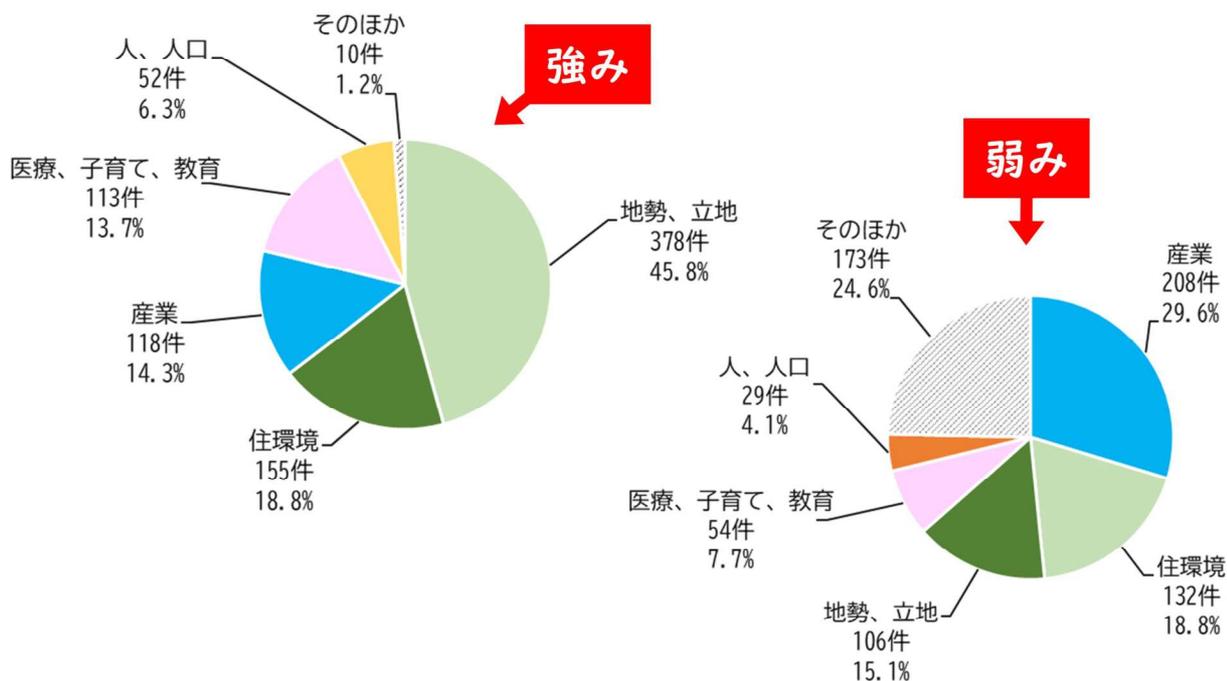
- ・「立地、環境」に関する内容が多く、4割以上(43.1%)を占めています。次に「施設、公園、店」に関する内容(22.2%)、「歴史、産業」に関する内容(8.8%)が続きます。



6 職員アンケートで多かった意見

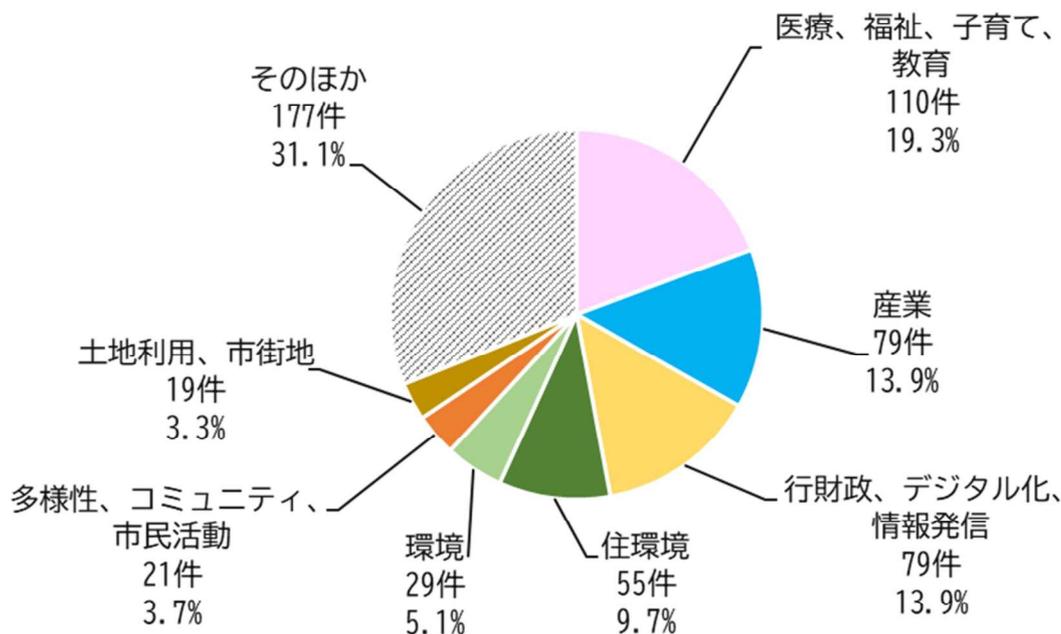
(1) 江別市の「強み」「弱み」

- ・強みについては、「地勢、立地」に関する内容が多く、45.8%を占めています。次に「住環境」に関する内容(18.8%)、「産業」に関する内容(14.3%)が続きます。
- ・弱みについては、「産業」に関する内容が多く、約3割(29.6%)を占めています。次に「住環境」に関する内容(18.8%)、「地勢、立地」に関する内容(15.1%)が続きます。



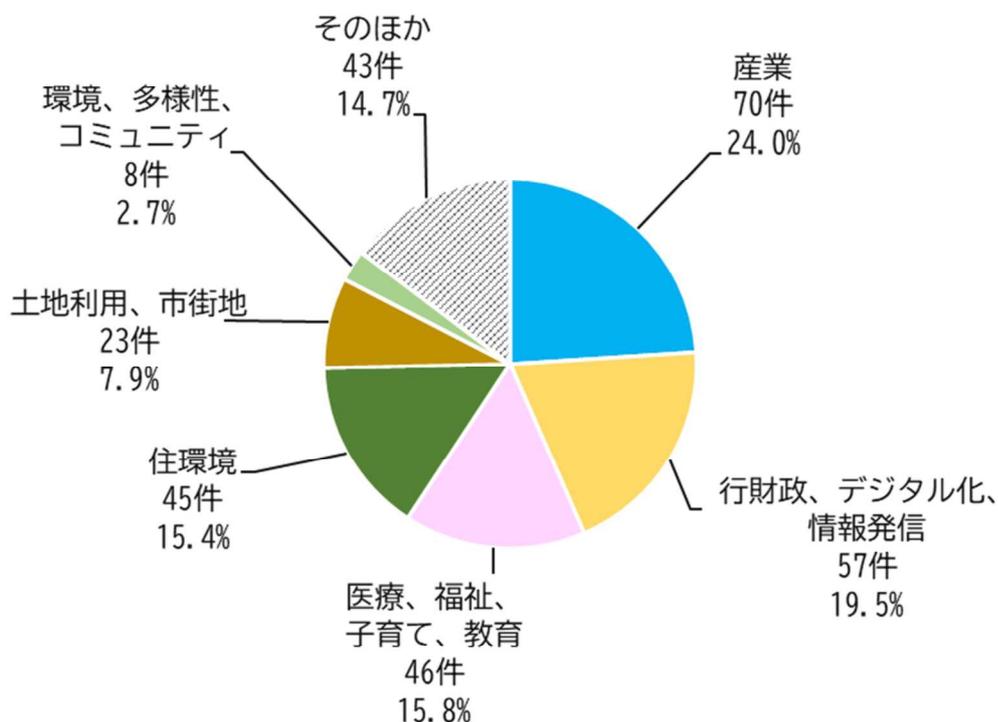
(2) 力を入れるべきまちづくり分野

- ・約3割を占める「そのほか」を除くと、「医療、福祉、子育て、教育」に関する内容が多く、約2割（19.3%）を占めています。次に「産業」と「行財政、デジタル化、情報発信」に関する内容が同率（13.9%）で続きます。



(3) 江別市をより良くするための政策提言

- ・「産業」に関する内容が多く、24.0%を占めています。次に「行財政、デジタル化、情報発信」に関する内容（19.5%）、「医療、福祉、子育て、教育」に関する内容（15.8%）、「住環境」に関する内容（15.4%）が続きます。



7 各種調査に寄せられた声、意見など

● 市民アンケート

☆えべつの未来づくりミーティング

◇ えべつの未来づくりプロジェクト

■ 職員アンケート

住みやすい

- 誰もが住みやすい街。
- ◇ 誰もが住みやすい街。
- ◇ 普通に住みやすい街。
- ◇ 住みやすさを追求して、住みやすさ日本一を目指す。
- 福祉、健康、安全を重視した住みやすいまちづくり。
- ユニバーサル、デザインに基づく策定（どの年代も住みやすい）。
- 江別市の魅力は「都会過ぎず田舎過ぎない所」だと思うので、市民の住環境を大事にしながら、様々な世代が生活しやすい環境を整えていけたら良いと思います。
- 安全で全ての人が快適に過ごせる街がずっと続いていけばいいと思う。
- 大きな施設は札幌市には敵わないので、子育てがしやすかったり、行き届いた除排雪など日常的な住環境の充実を優先した方が良い。そうした結果が企業や商業施設の進出に繋がると思うので、まずは「住みたいまち江別」を目指してはどうか。
- 子どもから年配の人まで住み良いまちづくり。
- 住みやすさの促進（市内居住者への住宅確保支援、共働き世帯への補助等）
- 少子化や人口減は江別市が独自でやっても解決できるものではない。江別に住んでいる人が、江別に住んでいて良かったと思えることに力を入れてほしい。公共料金が他市町村より安いとか治安が良いとか住んでいる人がメリットを感じるのであれば噂を聞き転入は増えると思う。ネット社会で直ぐに情報は広まる。
- 少子化対策や住宅を建て易い環境を整え、札幌市より住み心地の良い街づくりを。
- 暮らしやすい環境を整えるとよい。病院や介護施設の充実、買い物のしやすさなど。
- 暮らしやすさが最大の強みなので、そこをより伸ばす政策。
- 江別に住む人が江別を好きになるようなまちづくりが理想だと思う。せっかく江別に住居を構えた住民が、「江別が便利」「江別で用を済ませられる」という気持ちになるようなことに力を入れてほしい。
- 観光というより、住んでもらうにはという方向に振ったほうが良いと思います。
- ☆今住んでいる人を大切にすることがまず重要。
- ☆観光地で賑わうまちより、住みやすいまちをつくってほしい。
- ☆観光地として選ばれるのではなく、暮らしやすいまちとして選ばれるようにしたら良いと思う。暮らしやすさを市外に発信していく。
- ☆住みよさを求めて、住む場所を探している方々を、いかに江別市で受け止められるか、他の自治体との差別化が重要だと思う。

住み続けたい

- 高齢化するが、住み続けることが可能な環境が整っている事を望みます。
- 長く安心して暮らしていける住み心地のよさを追求するのがよいと思う。

■ 住み続けたいと実感できる街づくり。

☆生まれてから死ぬまでずっと住みやすいまちでいてほしい。子育てしやすく、高齢になっても健康寿命が保てるようなまちになってほしい。今ある良い部分を伸ばしていけば良いのでは。

☆高齢になっても誰もが住み続けられるまちづくり。

☆自分の子どもが育った後も、そのまま江別市内に定住するまちであってほしい。

住み良さは気づきにくい

☆特色は乏しいと感じているが、江別市は大好きで、どこかに行くにも、住むにもとても良い環境だと思っている。市外に住む方からも「江別市は良いね」と言われることがあり、行政や福祉、生活環境などが良いと言われる。自分で住んでいるとなかなか気づかない。

☆魅力は十分あると思う。魅力が気付かれにくいのではないか。「住みやすさ」はなかなか気付かれにくい。

☆観光地と、住むまちの二つの視点では、住みやすさは十分ある。除雪も、他の道内の豪雪地域に比べたら、行き届いている方だと思う。住みやすさは知られにくい。住んでみて「ああ、住みやすいな。」と分かる。

☆江別市民にしか分からない魅力があるので、「住ませたら勝ち」だと思う。

安心して暮らせる

● 安心、安全で暮らせる街であって欲しい。

☆安全安心が一番大事だと思う。

◇心安らぐまち。

● 乳幼児、児童、学生、成人、老人、みんなが安心して暮せる街であれば良いです。

● 誰もが穏やかに住み続けられるまちであってほしい。

● 誰もが安心安全に暮らすことができる街。福祉、医療サービスの独自性、充実。

● 世代を問わず、安心して生活できる街づくり。

● 若い人や子どもが安心して暮らしているまち。

● 子育てしやすく、老人が安心して暮らせるまちづくりが必要かと思います。

● すべての市民が安心して江別市に住める様な環境づくり、年金による安定した老後の生活が安心して暮らせるまちづくりを。その上で、これからの新しい時代をつくり上げる子供たちに、希望や、情報提供をさしのべてほしい。

◇ 治安よし、活気あり、学生が安心して過ごせるようなまち。

◇ ゆったりとした雰囲気、安心して暮らせるまち。

◇ 引っ越してきた人でも安心して過ごせる街。

◇ 四季を通じて安心できる街。

◇ 除雪の負担減や学校以外の教育施設、病院の拡充により全世帯が長く安心して暮らせるまち。

◇ みんなが安心して暮らせて住み良いまち。

◇ 子どもとお年寄りが安心安全に過ごせるまち。

☆安全安心が重要。「江別市は、安全安心だよ」と言われることが大切だと思う。

☆高齢者が安心して住み続けられるまちづくりが重要。

☆安全安心なまち。最近、ニュースを見ると亡くなる人が多いと思った。一人ひとりの命の大切さを見直してほしい。

☆命を守ることが大事。人の命を最優先にすることが重要。

笑顔

●笑顔が絶えない江別、明るい江別、活気が有る江別。

◇子供からお年寄りまで、笑顔で過ごせる街。

◇小さな子からお年寄りまでみんなが笑顔になる街。

◇笑顔が飛び交う、子供からお年寄りまでが住みやすいまち。

◇笑顔の絶えないまち。

◇笑顔溢れる輝く江別。

◇年齢を問わず沢山の人が笑いあえる街。

やさしい

●人に優しい街になってほしいです。

●その場その場だけではなく、人にやさしい江別市になってほしい！住むなら江別市といわれるような学校や医療、文化や芸術、スポーツと、人が関われる（参加する・できる）事業を。生きがいを持って住める江別市、きっと何か人のために役に立てるそんな10年分…楽しみにしています。

◇ボランティアや募金活動などの取り組みに力を入れる、他者にも優しいまち。

◇皆が笑顔で人にやさしい暮らしがしたい。

◇困った時の相談先が分かりやすく、隣人の困りごとに損得なしに対応する優しいまち。

☆目の前の人と安心して接していける、住んでいる人が心のやさしい、穏やかなまちになると良いと思う。

☆弱者にやさしいまちになってほしい。弱者にやさしいまちは、誰もが住みやすいまちにもなる。

支え合う、助け合う

●支えあう社会。

◇地域で支え合えるまち。

●若者と老人がお互いに助け合う社会になると良いと思います。

◇みんなが助けあう優しいまち。

◇近所みんな仲が良いまち。

好き、誇り

◇みんなが「江別が好き！」という気持ちで過ごせるまち。

◇自分の住む地域を誇りに思う市民が多いまち。

◇住んでいる人が好きだ！と胸をはって言える街。

明るい、楽しい

- ◇ 街全体が明るい。
- ◇ 行事等でたくさん盛り上がるようなまち。
- ◇ 住んでいて楽しい街。
- ◇ 季節の行事や旬の食べ物を地域みんなで楽しめるまち。
- 住んだら楽しいまち。

元気、活気

- 子どもたちの姿がたくさん見られて、大学生が地域で活躍をし、子ども、若者で生き生きしたまち。
- 教育サービスを充実させ、若者が集まる活気のあるまち。
- ◇ 活気があり、住みやすい街。
- ◇ 活気があり、きれいなまち。
- ◇ もっと建物があって活気があってほしい。

集まる、交流

- 市民同士の交流が盛んなまち。
- ◇ 人が自然と集まって楽しめるようなまち。
- ◇ 活気があり、老若男女関係なく距離が近いまち。
- ◇ 違う環境の人と交わることができるまち(大学生と大人、こどもと大学生など多世代の人が交流できる)
- ◇ 地域の交流が盛んなまち(割と新しいまちで住宅街も居住年数が浅い人も多く、挨拶や地域活動など住民同士の交流が少ないように感じる)

若い世代

- 若い人達が元気に生活できるまちにしてほしい。
- ☆ 江別市は、北海道の中でも、人口減少を遅らせることができるポテンシャルを持った、数少ないまちだと思う。都市基盤の整備を進め、若い人が選んでくれるまちに。

多世代

- 今の江別市は「子育て世帯が暮らしやすい市」というイメージが強い。高齢者やすべての世代の人が安心して生活できる市になってほしいです。
- ◇ 世代関係なく関わりが豊かなまち。
- ◇ 全ての年代が絶えず挨拶をする微笑ましいまち。
- ◇ 3世代が楽しく住める街。
- ☆ 三世代で住めることはすばらしいと思うので、三世代と一緒に住めるまちづくりを進めるべき。
- ☆ 年齢構成のバランスを考えて、三世代ともに暮らしやすいまちづくりを。
- 若者と高齢者が共存(生)している街。

- ◇ 若者と高齢の方が集い、生活そのものを楽しむまち。
- ◇ 若者と高齢者が融合するまち。
- ◇ さまざまな世代が支え合って未来に存続していくまち。
- ◇ 子供からお年寄りまで、豊かに共存できるまち。
- ◇ 様々な世代の人が交流できるまち。
- ◇ 高齢の方と子供・学生の交流が多いまち。

落ち着いた

- 落ち着いた生活環境が住民の安心感につながる。ストレスのたまらない、ストレスの発散出来る様な場所等が多くある様な、たとえば自然に接する庭園などの用地を確保しておくとか、芸術活動出来るホール等が出来るとうれしいですね。満足度アップ、落ち着いた生活が望めそう！！
 - 「ゆとり」や「安らぎ」といった精神性に重点を置いて、余り右肩上がりの成長や発展にばかりとらわれたり、こだわらないでほしい。”おだやかな心持ち”は世代間共通のテーマではないでしょうか…？！
 - ◇ 落ち着いたまち。
 - ◇ 静かで落ち着いているまち。
- ☆ 札幌市や東京都と同じものを求める人は江別市には来ない。実利を取り、品のある落ち着いたまちになってほしい。

コンパクト

- 緑の多いコンパクトな街。
- 少子高齢化、労働人口の減少、財政等をふまえてコンパクトなまちづくりは今後も必要。
- 高齢化と人口減に対して、コンパクトシティも視野に入れた街作りを考えて欲しい。
- 立地条件を活かし、身の丈にあったまちづくり（様々な分野のコンパクト性）。
- インフラ整備の再検討。今後の維持管理費等を考慮して人口減少に伴うコンパクトシティの形成。

自然と共生

- 緑豊かなまちづくりを。
- 自然環境を大切にしながら、利便施設を更に向上させる。
- 自然と共生。
- 人間が幸せに生活して行く為に、自然を自然のまま、地球を大切に思い、こわさずに生かし、その恵みを有難く頂き、さらに自然を活かし、人間に有効に利用させてもらい、共生する事だと考えます。

札幌に近いこと・ベッドタウンをいかす

- 都市・札幌に近いので、その利便性を活かす街づくり、暮らしやすい街づくりを。
- 札幌の復都心としての住宅の整備、学校の整備。

- ベッドタウンとしての充実と発展。
- 札幌市の衛星都市としての機能を充実させ、居住環境と農業生産の直結による食品産業を振興して、自然豊かな市街形成を基礎にした清潔で健康的な田園都市「江別」を築いて、持続可能な「まちづくり」を進めて欲しい。
- ベッドタウンである特徴をさらに強化する。
- 大都市札幌の隣接都市であるという強みを活かした政策継続が現実的ではないか。
- 札幌のベッドタウンとして魅力的なまちとなるような政策を行う（今後想定されるJRの運賃値上げを市の補助で抑えるなど）
- 「札幌市に隣接していることのメリットが最大限となるように」という視点をベースに、どの分野に力を入れるべきかを検討する。
- 札幌市への依存体質は今後も解消ないので、良くも悪くも札幌市で済む事柄については江別市が注力し過ぎる必要はないのでは。その上で、依存関係では補いきれない市の内部環境改善に注力するよう舵を切る必要があるのではと考える。
- 札幌のベッドタウンと割り切って、観光やイベントといった市外向けの事業を切り、市内在住者の暮らしやすさ、住環境整備、除排雪の強化、子育て環境の充実、高齢者福祉などに特化するのも、ひとつの手だと思う。
- ベッドタウンとしての長所を最大限に活かし、人口増に向けて全力で取り組む。ベッドタウンを活かして人口流入を狙っている市町村は他にも多々あるため中途半端な政策では成果は見込めない。
- 札幌のベッドタウンとして、ある程度の食住を充実させたまま、足りない部分を補っていくことで住む人が離れない街となると思う。
- 背伸びや格好つけるような無理はせず、サッポロにストーカーして生き延びていくべき。この恩恵を受けられる市町村は。道内において『サッポロ隣接』、これ以上の強みはありません。サッポロにガッチリ粘着し、より良いベッドタウンになることで、それなりに多くの住民ニーズに応えられる気がします。
- 札幌に近いことを利用して移住を進めてはどうか。
- ☆ 「仕事は札幌市でも、帰る家は江別市」でも良いのでは。
- ☆ ベッドタウンの機能を充実させて、市外からの転入を促すことが効果的なのは。
- ☆ 人が増えてくれると有難い。企業が来るのはなかなか難しいと思うので、札幌市のベッドタウンとしての機能を高めていくべきではないかと思う。

脱・ベッドタウン

- 札幌の衛星都市から脱皮を目指してほしい。
- 札幌の傘下の生活圏を感じる。札幌のおこぼれで生きてはいけない。
- 立地上、札幌市への依存度が高すぎると思うので、札幌市への依存度を減らしながら札幌市以外の市町村との連携を一層強化していくことも求められると考える。行政や産業の連携だけではなく、地域住民間の連携協力を促進できないものか。
- ☆ 江別市は、学園都市、札幌市のベッドタウンというイメージを持たれているが、これらのイメージからの脱却が必要では。

特徴を

- 江別の特色がわかる政策。

- 長所をさらに伸ばすような施策展開。
- 江別市の魅力は、これといったものがないので、何かを答えられるものを発展させるべき。
- 文教地区や北海道の地産地消の代名詞な街になってほしい。
- 何か、江別ならではのものを引きつける目玉があれば良い（居住者増、観光客増に向けて）。
- 江別だけの特徴、魅力的な物（農作物、施設活用、人を来てもらう、など）。
- 江別市に住むと「ここが良い点！！」という特徴が必要です。
- 江別はどんなまち？と知人・友人に聞かれたとき「う～ん」と考えることのない様に、はっきりとしたまちの特性を答えることのできる様なまちにしてほしいです。
- 生まれた時から生活しているが、市外から来た人、観光客に江別の観光名所を聞かれても自信を持ってここですよという所が少ないし、無い。農業、工業どちらを押しつけてゆくのかな？長く住んでいる住人としては素晴らしい江別になってほしい。
- 都市としての利便性と自然、環境との調和をもっと前面に出しても良いのでは…「子そだての充実」でそれなりの成果があるのであれば、その先を見据えた方策も考える必要がある。
- 江別だからこそその自然、レンガの街。
- 「レンガのまち」「農業・酪農のまち」というテーマでの江別を大きく育てて、文化・芸術・農業において広く知ってもらい学べるまちになれば、市外からの足数も増え、市民もより楽しく暮せて、居住環境もより良いまちにしていける。江別だからこそ生みだせるものを考え、江別の歴史も魅力へと変えていくことが重要。キーワードはレンガ、酪農、小麦、焼きものなど。←これらを扱う店や公園、博物館などやきもの市の様な。
- もっと江別の独自性を活かした街に。駅前などもっとレンガでレンガの街アピール、ココルクえべつみたいな施設を充実させる。子どもの育てやすいまちアピール。
- 江別市の特徴（農業、産業、学園都市、自然など）を生かして頂ければと思います。
- 歴史的建造物、食品の認知度を向上し、他都市との特色を際立たせる。
- 平均点の高いまちづくりではなく、何かに特化したまちづくりを進めると良い。
- これからは人口が減少し市民が住む自治体を選ぶ時代になってくる。その時になにか突き抜けた分野がないと、特色がない自治体となってしまうと思います。
- 他市町村との差別化をもっと明確にしてほしい。
- 札幌への依存体質をそろそろ改めて、江別市としての特色を打ち出すべき時期が来ている様に思われます。買物ばかりではなく、病院も、カルチャーも体力維持のためのスポーツも、江別市内で充分満足出来るようであってほしい。
- 札幌との差別化。都会に憧がれないで、江別の魅力を発信してほしい。
- 周辺の他のまちとも協力し、地域としての特色を打ち出していくと、広くまちが活性化していくのでは（例：キャンプ地域、スポーツ環境の充実した地域）。

ほど良さ、両立

- ◇ 大消費圏に隣接していながらも、ほど良く田舎で、高等教育とのびのび子育てを両立できるまち。
- ◇ 安全安心で、便利で、ちょっとおしゃれだけれど、（札幌のような都会よりも）自

然の豊かなまち。

◇ 都会と田舎のハイブリット。

◇ 都会と田舎の高い次元での両立。

■ 自然と都市の融合による健康的で活気溢れる街。

☆ 程良い田舎具合を住みやすいと思っている人もいるので、観光を伸ばして賑わうまちになったら、環境が変わってしまうかもしれない。

持続可能

■ 背伸びしないまちづくりを心掛けること。江別市民が望むのは派手な発展ではなく、地味な持続です。

◇ 持続型定住可能都市 医療、教育、産業、子育て、行政が整った持続型都市。

成熟

☆ 成熟社会になってきており、札幌市や東京都と同じものを求める人は江別市には来ないと思う。実利を取り、品のある落ち着いたまちになってほしい。

循環、戻って来る

☆ 世帯が高齢化し、空いたらまた人が入って来る、循環するまちにしてはどうか。

☆ 自分の子どもは皆、市外に住んでいるが、いつか戻って来れるようなまちになってもらいたい。

☆ 市外に転居後、結婚や出産、家を建てる時など、人生の節目に、江別市に戻って来たいと思わせることが大事だと思う。

広い視点で

☆ 身近で小さな器の中で人口を取り合うのではなく、外から広く、多くの人を呼び込むことが重要であり、それがまちの活性化につながると思う。

長い目で

☆ 子育てや教育に力を入れて、10年、20年、30年の長い視点でまちづくりのあり方を考えてほしい。

明日も未来

☆ 未来は、遠い先だけでなく、明日も「未来」である。まずは今、明日をより良くしていくことが大事であることを忘れないでほしい。